



## 「ここにきて落日を見るを常とせり」

斎藤茂吉

斎藤茂吉は、明治十五年、山形県生まれの歌人・精神科医。「アララギ」を編集した。歌集に『赤光』『あらたま』などがある。

大正六年、長崎医学専門学校（現・長崎大学医学部）に教授として赴任した茂吉は、教え子の森芳泰来のすすめで、大正九年に小浜を訪れた。十月十五日から五日間、柳川旅館に滞在している。塩からい温泉を「塩の湯のたゆることなく吾は讚へむ」とも詠じている。

橘湾に沈む夕日の美しさを詠んだのが、碑文の歌である。

ここにきて落日を見るを常とせり

海の落日も忘れざるべし

碑は、昭和五十二年、海に面した「夕陽の広場」に、雲仙・小浜ライオンズクラブによって建立され、小浜町に寄贈された。